

## ■市第217号議案 平成26年度横浜市一般会計補正予算（第6号） こども青少年局関係部分

### 1 補正予算案の概要

「地域住民生活等緊急支援のための交付金（地方創生先行型）」を活用し、「横浜市中期4か年計画」の施策5「子ども・若者を社会全体で育むまち」の効果を高める事業を実施するため、平成26年度一般会計予算について増額補正を行うとともに、繰越明許費を設定します。

### 2 地域住民生活等緊急支援のための交付金活用事業

#### (1) 交付金の概要

本交付金は、地域の消費喚起など景気の脆弱な部分にスピード感をもって対応することを目的とした「地域消費喚起・生活支援型」と、都道府県や市町村が「地方版総合戦略」を策定し、地方が直面する構造的な課題へ取組むことにより、地方活性化を図ることを目的とした「地方創生先行型」の2種類があり、国の平成26年度補正予算で創設されました。

こども青少年局では、本交付金の「地方創生先行型」における、少子化対策や、多世代交流・多機能型拠点形成に該当するものとして2つの事業を実施します。

#### 【参考】

	地域消費喚起・生活支援型	地方創生先行型
趣旨	地域における消費喚起や、これに直接効果を有する生活支援に要する費用に対して交付	地方版総合戦略の策定や事業の実施に要する経費に対して交付
交付対象者	都道府県及び市町村	26年度中に地方版総合戦略を策定又は策定に着手する予定の都道府県及び市町村
国交付金額	総額 2,500億円 (本市交付限度額 23.74億円)	総額 1,700億円 (本市交付限度額 1.96億円)
メニュー例	①プレミアム付商品券 ②ふるさと名物商品・旅行券 ③低所得者向け灯油等購入助成 ④低所得者等向け商品・サービス購入券 ⑤多子世帯に対する支援	①地方版総合戦略の策定 ②創業支援・販路開拓 ③観光振興・対内直接投資 ④地域しごと支援事業 ⑤ <b>多世代交流・多機能型拠点形成</b> ⑥ <b>少子化対策</b> ⑦U I J ターン助成

## (2) 増額補正を行う事業

<単位：千円>

目名	事業名	補正額	国支出金	県支出金	負担金 その他	市債	一般財源
6款1項2目 青少年育成費	困難を抱える 若者のための 地域サポート モデル事業	12,000	12,000	0	0	0	0
		<p>&lt;概要&gt; 地域において若者を見守り、社会参加を支援できる環境づくりに向け、困難を抱える若者の現状理解を促進し、支援の裾野を広げるため、広報やセミナーを実施する。</p> <p>&lt;目的&gt; セミナー参加を契機とし、地域において若者自立支援に取り組むボランティア（協力者）を募る。 将来的には、ボランティア（協力者）を一つの窓口として、若者の自立支援をテーマとする新たなつながりを創出し、若者の孤立を防ぐ地域づくりにつなげる。</p> <p>&lt;関連する中期4か年計画の施策&gt; 施策5：子ども・若者を社会全体で育むまち</p>					
6款1項2目 青少年育成費	宇宙・科学による 夢づくり事業	43,000	43,000	0	0	0	0
		<p>&lt;概要&gt; 宇宙・科学への関心をさらに高め、健やかな育ちを支援するため、JAXA（宇宙航空研究開発機構）と連携し、横浜こども科学館において、夢のある、魅力的な教室事業や企画展を実施する。</p> <p>&lt;目的&gt; 宇宙・科学の不思議にふれることで、次代を担う多くの子ども・若者に夢や希望を与えるとともに、関心を持った子どもの探究心を深め、専門家への道を歩むような人材の輩出につなげる。</p> <p>&lt;関連する中期4か年計画の施策&gt; 施策5：子ども・若者を社会全体で育むまち</p>					
合計		55,000	55,000	0	0	0	0

## (3) 繰越明許費を設定する事業

<単位：千円>

目名	事業名	金額	繰越理由
6款1項2目 青少年育成費	困難を抱える 若者のための 地域サポート モデル事業	12,000	年度内執行が困難であるため
6款1項2目 青少年育成費	宇宙・科学による 夢づくり事業	43,000	年度内執行が困難であるため

## 3 今後のスケジュール

補正予算議案について議決をいただいた場合は、国からの交付決定を受け、平成27年4月以降の事業実施を予定しています。